説明資料

総合計画とは



総合計画とは，市政運営の基本となる最上位計画であり，市民と行政が力をあわせ，将来像の実現を目指すための共通の指針です。

■策定の趣旨

- 本市の課題と強みを的確にとらえ，地域の実情に即した施策を総合的かつ計画的に推進するため，新たに掲げる将来像の実現に向けて，策定するものです。
- 本計画のもと，市民，団体，事業者，行政がそれぞれの役割を担い，連携・協働しながら，ともに創る持続可能なまちづくりを推進します。



■計画の構成と計画の期間

＜計画の構成＞

- 本計画は，「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成します。
- 「基本計画」に掲げた方向性は，「実施計画」で具体的な事業に落とし込み，毎年度の事業の評価や予算の編成と連動させながら，必要な見直しを行います。

＜計画の期間＞

- 基本構想：令和９年度～令和１８年度までの１０年間です。
- 基本計画：令和９年度～１３年度までを前期，令和１４年度～１８年度までを後期とします。
- 実施計画：３年間とし，毎年度，事業の検証・見直しを行います。

今回冊子として一体的に策定する部分

基本構想
期間：１０年
（令和９～１８年度）

基本構想は，本市が目指すべき将来像やまちづくりの基本姿勢，将来像の実現に向けた政策の柱を示し，各分野におけるまちづくりの指針とします。

基本計画
期間：５年
（前期：令和　９～１３年度）
（後期：令和１４～１８年度）
◎重点戦略
（地方創生総合戦略）

基本計画は，基本構想で示した政策の柱ごとに施策の展開を図り，体系的に明らかにする計画です。目指すべき将来像の実現に向けた取り組みなどを示します。

◎「重点戦略」は，政策分野を横断して市全体で優先的に成果を追う“総合戦略”を内包した位置づけです。

実施計画
期間：３年

実施計画は，基本計画の主な取り組みなどを受けて，具体的に実施する事業の内容を示す計画です。毎年度，事業の検証と見直しを行い，順次３年間の計画を策定します。

第２次計画からの主な変更点

■変更点①　総合計画と総合戦略の一体化



－人口減少への対応を，分野を横断して進めます。－

- 総合計画が市政運営の基本となる計画である一方，総合戦略は，人口減少対策として持続可能な地域社会の実現を図るための，地方創生に特化した計画です。
- 急速な人口減少と少子高齢化が進行する中，本市においても人口減少対策は，全ての施策分野にかかわる最重要課題です。第３次計画からは，これまでの総合戦略を「重点戦略」として一体的に位置付けます。「重点戦略」は，分野ごとの取組を横断的につなぎ，共通する課題や重点テーマを共有しながら，総合的かつ効果的に施策を推進します。

■変更点②　成果指標の設定



－計画の進捗を，段階に応じた指標で確認します。－

- 総合計画の進捗を測るため，指標を三層構造で整理し，一体的な評価体系として推進していきます。
- 人口減少等の社会情勢や行財政改革の視点を踏まえ，計画全体，重点分野及び現場レベルの取組状況の確認と，毎年度実施している事業の評価と連動させ，計画，財政及び組織運営の一体的なマネジメントを図ります。

三層構造の成果指標

基本計画における評価

①「総合指標」 計画全体の達成度を測る指標	本計画では，最終ゴールに相当する到達度を，複数の観点で測り，方向性を確認する「総合指標」として整理します。
総合指標に寄与	
②「ＫＧＩ（重要目標達成指標）」 重点戦略において，基本目標ごとの成果指標	ＫＧＩは，将来像に向けて特に重点化する「重点戦略（基本目標）」ごとの成果指標として位置づけ，戦略の達成度を端的に把握できるように設定します。
ＫＧＩに寄与	
③「ＫＰＩ（重要業績評価指標）」 個々の施策の進捗を把握する指標	ＫＰＩは，「分野別施策」や「計画の推進を支える取り組み」の進捗を毎年度把握するための指標であり，ＫＧＩに至る過程を管理するものとして設定します。

■変更点③　施策体系をわかりやすく再整理



－「政策の柱」と「共通基盤」で，計画全体のつながりを明確にします。－

- 「施策の大綱」を，市民にもわかりやすい７つの「政策の柱」として整理しました。
- 「市民協働」と「行財政運営」を，計画の推進を支える共通の仕組み，共通基盤に位置づけました。
- 文章の簡潔化や図表の活用により，目指す方向と取り組みの関係が見える計画とします。

第３次計画と第２次計画の体系比較

■第３次計画の体系図

基本構想（10年）

目指す将来像

「宝の花咲く大崎ーみんなで育てる大崎の未来ー」

まちづくりの基本姿勢

○安全・安心　○活力・交流
○自立・協働　○改革・挑戦

分野別の政策の柱

1	2	3	4	5	6	7
子育て・教育	産業・経済	健康・医療・福祉	生涯学習・文化・スポーツ	防災・安全	都市基盤・環境	人権・多様性・交流

まちづくり全体を推進する共通の仕組み

市　民　協　働

全体を支える共通の基盤

行　財　政　運　営

基本計画（５年）

総　合　指　標　　計画全体の達成度（最終ゴール）

分野横断的かつ重点的に推進する施策

重　点　戦　略
（＝総合戦略を包含）

人口減少，若者の市外流出
地域経済の縮小，生活サービスの維持等への対応

基本目標１　学びと子育てが未来につながるおおさき
基本目標２　働く場と地域産業が元気を生むおおさき
基本目標３　安心して住み続けられるおおさき

分野別施策

1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章
1節 子育て 2節 教育	1節 農業 2節 林業 3節 商工業 4節 観光	1節 健康 2節 医療 3節 福祉	1節 生涯学習・社会教育 2節 文化・芸術 3節 スポーツ・レクリエーション	1節 防災対策 2節 防犯対策 3節 交通安全	1節 道路・都市環境 2節 公共交通 3節 住環境 4節 環境保全 5節 エネルギー・脱炭素	1節 平和・人権 2節 多様性 3節 交流・関係人口

計画の推進を支える取り組み

市民協働の推進　　市民活動・コミュニティ　参画・対話　多様な主体との連携

行財政運営の最適化　　行財政運営　DX・データ活用　人材育成・組織力向上　公共施設・資産管理

■第２次計画の体系図

基本構想（10年）

目指す将来像

「宝の都（くに）・大崎
ーずっとおおさき・いつかはおおさきー」

まちづくりの基本姿勢

○安全・安心　○活力・交流
○自立・協働　○改革・挑戦

施策の大綱

1	2	3	4	5	6
市民が主役協働のまちづくり	安全・安心で交流が盛んなまちづくり	地域の個性を生かし豊かな心をはぐくむまちづくり	活力あふれる産業のまちづくり	地域で支えあい健康で元気なまちづくり	自然と共生し環境に配慮したまちづくり

基本計画（５年）

分野別施策

（重点プロジェクト）未来を担うひと・地域・田園都市創生プロジェクト
（重点プロジェクト）連携・醸成・発信　次世代へつなぐ産業創造プロジェクト
（重点プロジェクト）安全・安心・住みやすさ創出プロジェクト

1章	2章	3章	4章	5章	6章
①共に「はぐくむ」協働のまちづくり ②男女が共に担うまちづくり ③市民の生活を支える行財政改革の推進	①円滑な道路環境の整備 ②快適に暮らせる公共交通の充実・強化 ③地域資源を生かした地域間交流，国内・国際交流の推進 ④自助・共助・公助に基づく防災対策の強化 ⑤機動的な消防・救急体制の充実 ⑥地域ぐるみの交通安全対策の強化 ⑦地域で守る防犯対策の強化 ⑧みんなで取り組む平和と人権の尊重	①未来を担う子どもたちの教育環境の充実 ②豊かな心をはぐくむ生涯学習の充実 ③多彩な地域文化の継承・形成 ④生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの振興	①誇りある農業の振興 ②新たな期待にこたえる林業の振興 ③にぎわいのある商工業の振興 ④訪ねたくなる観光の振興 ⑤安定した就労・雇用の支援 ⑥魅力ある地域資源の活用と産業の連携	①生涯を通じた健康づくりの推進 ②充実した地域医療体制の整備 ③安心と生きがいのある高齢福祉の充実 ④地域で支え合う社会福祉の充実 ⑤環境の変化に対応した子育て支援の充実	①豊かな自然環境の保全 ②身近に触れ合える憩いの場の整備 ③快適な生活環境の保全・整備 ④地球に優しい循環型社会の実現

第２次計画の６つの「施策の大綱」は，政策分野を明示した７つの「政策の柱」として整理

分野別施策の一部だった市民協働と行財政運営を，計画の推進を支える「共通の仕組み」「共通基盤」として整理

『総合戦略』を内包した「重点戦略」として新設，分野ごとの取組を横断的につなぐ

計画全体の「総合指標」を新設
重点戦略の基本目標ごとに「ＫＧＩ（重要目標達成指標）」を新設
分野別施策，節ごとに「ＫＰＩ（重要業績評価指標）」を新設